

令和7年4月13日執行

大山町選挙管理委員会

大山町議会議員一般選挙選挙公報

つながるまちづくり
大山町 日本一を目指したい！
福祉健康づくり 地域づくり
資源活用場のづくり

女性ならではの目線で

介護福祉士としての経験と大山町議会議員二期8年の経験を
生かし、こどもや高齢者・弱者が町の支援からこぼれること
のないよう注視・確認し、また、町が掲げる『楽しさ自給率
の高いまち』の向上につなげるよう努めます。

池田 ゆきえ プロフィール

徳島県出身 徳島文理大学卒業
H20年～ 大山町社会福祉協議会 勤務
H26年～ 大山町役場企画情報課
やらいや造成集落支援員として勤務
H28年～ 大山町役場人権社会教育課
あしもなやま・やらいや造成集落支援員
中山公民館就任職員として勤務

資格
介護福祉士 大卒自動車
日本赤十字指導員 中級自動車
(救急法・水上安全法・幼児安全法)
全日本スキー連盟公認 スキー正指導員
全日本スキー連盟公認 スキーハットロール
指導員

所属
団体
●中山女性会議 ●大山町スポーツ推進委員
●商品工部会いせん ●大山町工務協会
●中山スキークラブ ●大日本親友会中山

ゆきえ 池田 いけだ

【皆さんの声を大切に】
— 豊かで活力ある まちづくり —

◆ 私のとりのくみ・・・ ◆

- 1 教育環境の整備につとめます。
- 2 健康づくりの推進につとめます。
- 3 農林水産業・観光の振興につとめます。
- 4 子ども・若者・高齢者の生活環境の向上につとめます。
- 5 誰もが誇れる町づくりにつとめます。

全力を尽します！



杉谷 洋一

“住んでよかった”
“生まれてよかった” 大山町に！
新人 京力ひさこ は！

子育てしやすい“チルドレンファースト”のまちづくりを進めます
各世代が“活き活き”と暮らせるまちづくりを進めます
“孤独にならない”“温かいつながりのある”共生社会をつくりまします

“京力ひさこ”はこんな人
◇1969年、米子市尾高生まれ(56歳) ◇大山町加茂在住
◇県立米子西高校卒業
◇鳥取県子育て支援員の資格を取得し、大山町内の保育所で勤務
◇19年間、名和小学校の「読み聞かせ」ボランティアとして携わる
◇野菜づくりや料理が好き！
◇現在、名和中学校 学校運営協議会会長



公明党公認 京力ひさこ

40歳 岡集落
この町で暮らすひとたちのもつ理想像、
困りごとは多種多様です。行政が持つ
様々なデータの分析と、対話を通じた
情報収集を基に「みんなが自分らしく
過ごせる場づくり」に取り組みます。

3つの「場」づくり
01 自分らしく暮らせる場
・子ども大人も一緒に遊び、学べる場所
・地域外で暮らす人が暖かく、移住したくなる住環境
・歳を重ねても安心して過ごせる集落・地域
02 自分らしく働ける場
・産業を続けられる現地対策、インフラ整備
・価値を高め、より稼ぐための戦略
・副業、後継などの新たな働き方への対応
03 人や出来事と出会う場
・見知らぬ人、離れたら知られる広報媒体
・色々な人に出会える、知る場の情報のとりまとめ
・まずは自分たちがたくさんの人をつなぐ人！
みんなが自分らしく過ごせる場を！



小林なおよ

変えなきやいけん
大山町！
議会に興味を持っていたいです。大山町の議員はみんな熱量が高く取り組んでいます。しかし、一般社会では通用しないような言動の議員もいるのが現状です。
『議会が変われば大山町が変わる！！』のスローガンの元、まず自分達議員や議会の
姿を正し、本当に住民のためになるまともな議会を実現していきます。
●議会改革・議員定数削減！
無駄をなくし本当に住民さんの為になる議会運営をする。
多くの議員がいることで地域から拾える声も多いはずだが、今の大山町議会は人数が多すぎる為、1～2減は必要。今でも2減で問題はなかった。
●子どもと高齢者
子ども大事、高齢者も大事！
当たり前のことが、現在は子ども施策が目立ち、不満を抱える高齢者の声をよく耳にする。子どもたちには多様な体験を、高齢者の幅広いニーズを満たす為の、きめ細かい事業を提案する。
プロフィールとなぜ政治活動を始めたのか？
動画・SNSはコチラ →



にしもりと 西本のりと

声つなぎ・あなたの目線で・まちづくり！！
●「地元が潤う」まちづくりを！
農業から製造業、飲食業、サービス業など大山町にあるすべての
仕事を大切にしたい潤いある経済循環を目指します。
●「若者・女性が輝く」大山町へ！
若者・女性が活躍できる場所づくり、やってみたいを叶える場所づくり。
ママさん達に寄り添う子育ての場所づくりに取り組みます。
●子供からご年配の方まで「世代に合ったサポート」を！
今ある大山町の地域資源、遊休施設、補助制度などを世代に合わせて活用
できるよう積極的に働きかけます。
大山町の今、これからのために皆様からの声をお聞かせください！！



島田 かずえ

●政策
○少子化・高齢化対策
○子育ての充実・若者定住化対策
○社会福祉・教育環境の充実
○人権・社会教育の推進
○農林水産業の振興と後継者対策
○自然・歴史と連携した観光商業の振興
○企業誘致などによる雇用拡大
○山・川・海の環境保全
現在：所子地域自主組織委員・町観光協会大山支部委員
地区公民館運営委員・大山中学校同窓会会長



おおはらひろみ 大原広巳

人にやさしく キラリと光る
まちづくり
【私の約束】
町民の皆様と共に考え行動します。議会の信頼を高め、
皆様の声を聞き、共に政策提案へとつなげる仕組みを
充実させます。
* 地域共生社会への取り組み
* 地域の活力アップ
* 教育の質の向上
* 持続可能なまちづくり



吉原みちえ

行動と実現!!
1期4年で様々な政策提言をし、実際に予算化されました!
大山町のために声を聞き、汗を流し、働きます!
4年で実現したこと
◎住民サービス向上!!
住民票のコンビニ等での交付
駅前駐車場の看板設置
◎移住施策で人口増!!
宅地造成事業の拡充。地域おこし協力隊による空き家調査
◎教育環境の充実!!
フリースクール保護者負担減 等々
観光・経済力強化
持続可能な農業
安心できる子育て環境
支え合う高齢者福祉を
目指し行動していきます!!
豊 哲也 47歳
ゆたか 豊てつや
楽天株式会社でネットショップコンサルタントを経て大山町に移住。移住アドバイザーやプロカメラマンとして活動し、地域保全やPR、移住促進、観光振興にも貢献。



ゆたか 豊てつや

住み慣れた地域を守るために、
加藤紀之がこだわる3つの施策
1 子育て支援のさらなる充実
結婚はしたいが金銭的な不安を抱く若年層、子育て世代の定着や移住を支援することは、地域の商店や公共交通といった生活インフラを維持する高齢者支援策としての側面も持っています。
2 農林水産業の所得向上
DXによる省力化や高付加価値化などで、儲かる農林水産業の実現を目指します。これにより若い世代の就業促進を図り、農林水産業の発展・成長に繋がります。
3 自然を生かした観光客の誘致
海や山、恵まれた自然を壊すことなく、今ある環境を生かした観光客の誘致を推進します。観光による地域への経済波及効果は大きく、飲食店や宿泊業といったサービス業に限らず、農林水産業の所得向上にも寄与するはずです。
略歴
■名和小学校、名和中学校卒業
■米子東高等学校卒業(90期生)
■立命館大学理工学部数学物理学科卒業
■ITベンチャー勤務を経て帰郷し、漁家の3代目として従事
●平成25年
大山町議会議員選挙にて初当選
●平成27年
議員間の互選により総務常任委員会の副委員長を拝命する
●平成29年
大山町議会議員選挙にて2回目の当選
議員間の互選により経済建設常任委員会の委員長を拝命する
●令和3年
議員間の互選により総務常任委員会の委員長を拝命する
委員長による指名で議会運営委員会の副委員長に任ぜられる
●令和3年
議員間の互選により総務常任委員会の委員長を拝命する
委員長による指名で議会運営委員会の副委員長に任ぜられる
●令和3年
大山町議会議員選挙にて次点で落選



かとうのりゆき 加藤紀之

近藤大介 「3つの約束」
1. 地域産業の振興
農林水産業や観光など、大山の恵みを活かした地域産業の振興に取り組みます
2. 高齢者福祉の充実
高齢者はじめ町民が安心して生活できる地域づくりに取り組みます
3. 未来を担う人材育成
学校教育・社会教育の充実、地域や産業の担い手支援に取り組みます
We Love Daisen
近藤大介 58歳
三重大学人文学部卒
元・名和町役場職員
大山町議会議員(5期)



近藤大介

物価高から暮らしを守る!
公共料金の負担軽減を
■介護・国保の負担を軽減
■補聴器やシニアカーの助成をさらに手厚く
■農林地荒廃・後継者不足対策、家族農業支援を
■高校通学費助成、給食費無償化などを継続し、保護者負担の軽減を
■買い物支援など、町民の移動手段の確保を
住民生活の暮らしと生業を第一に
アンケートで「暮らしが苦しくなった」が68%に。4年前の1.7倍です。暮らしを応援し地場産業を育てる、町政の役割発揮が求められます。介護・医療・教育への願い実現へ全力をあげます。
物価高対策に消費税5%減税を!
おもりしょう 日本共産党
大森正治



おもりしょう 大森正治

(この選挙公報は、候補者から提出された原文を写真にとってそのまま掲載したものです。)

令和7年4月13日執行

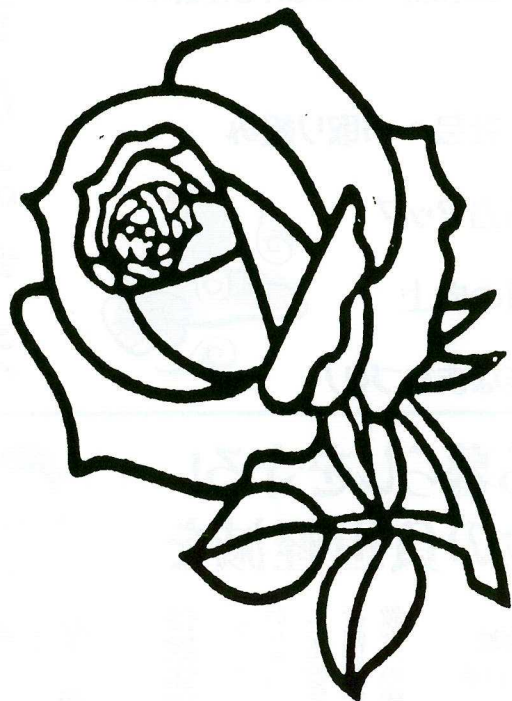
大山町選挙管理委員会

大山町議会議員一般選挙選挙公報

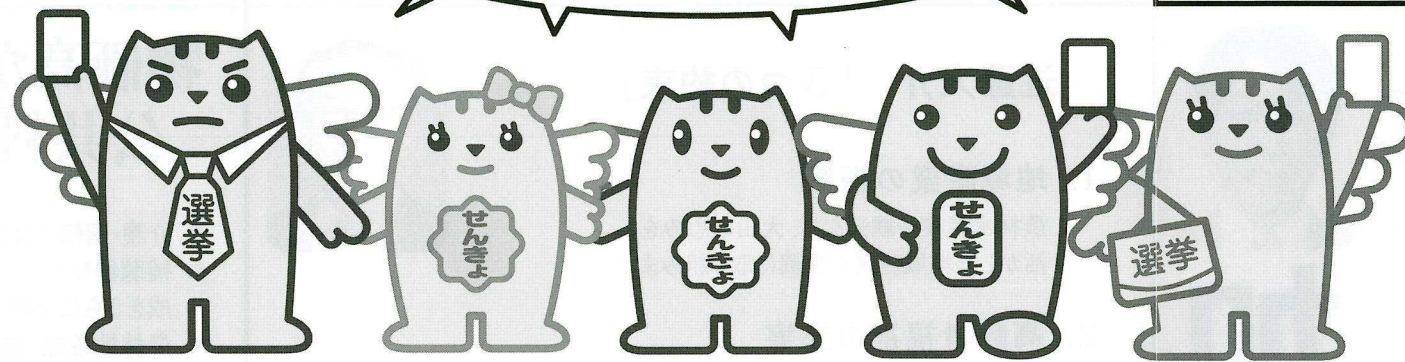
私たちの思いを新しい町づくりに
反映させるチャンス!

投票日には必ず投票に

行きましょう。



みんなで行こう。明るい選挙。



投票日は4月13日(日)

みなさんの声を
住みよいまちづくりに



野口 俊明

- 教育環境と子育て支援の充実したまちづくり
- 人権を守り高齢者や弱者に配慮する思いやりのあるまちづくり
- 農林水産業の経営の安定や商業の活性化に取り組むまちづくり
- 観光資源を活かしたまちづくり

「楽しさと賑わいあふれる町に」

1. 地場産業の振興支援

大山町は美味しい農水産物を育む土壌と生産する人たちの情熱と熱意があふれる町です。観光と合わせ、大山さんの豊かな恵みを活かした支援に取り組みます。

2. 子育て・教育支援

熱心な学びとスポーツを通じて子どもたちが、夢と希望を持ち将来の大山町を担う町づくりをめざします。

3. 高齢者福祉の充実

安心して暮らせる高齢者社会の町づくり・地域づくり支援に取り組みます。



大杖まさひこ

子どもも高齢者も労働世帯も
安心して暮らせる町へ

◎デマンドバスをより使いやすく！

デマンドバスの利用範囲や方法を広げ、子どもの習い事の送迎や高齢者の外出にも気軽に使える仕組みに。本人だけでなく、保護者や介護者の負担も減らします。

◎空き家と教育の融合！

デザインや建築の学生が、実地研修として地域の空き家をリノベーション。完成後は店舗や住まいとして貸し出し、希望者には売却も。関わった学生が移住する可能性も広がります。

◎いつでもどこでも芸術と文化に触れられる機会を！

芸術は心を育て、共感や創造性を広げます。誰が見て・触れて・体験できる場をつくり、表現の機会と継承を支えるとともに、活動家が収入を得られる仕組みを整えます。

◎創業支援や地元企業を応援！

地元企業の現状を把握し、状況に応じた個別支援を実施。補助金に頼るだけでなく、根本解決と継続的な創業支援にも力を入れます。また、創業後も続くフォロー体制を整えます。

◎民間と協力した多様性のある高齢者支援を！

人により合う作業や環境は違うため、多様なサービスが必要です。民間と連携し、高齢者の外出や運動、役割づくりを通じて心身の衰えを防ぎます。



大山町の未来につなぐ
近藤たかひろ

町民の声を町政へ、
みんなが住みたい町づくり

町民みんなが笑顔で暮らせるまちづくり

- 「出会い」と「対話」を大切に、地域の課題に対して、みなさまの意見を町政へ届け、力を合わせて解決していきます。
- 医療、福祉を充実させ、子どもから高齢者まで安心して暮らせる取り組み

子どもの成長や子育てをサポートする町へ

- 大山町で夢を叶えることができる環境作り
- 子育てに係る経済的負担の軽減
- 子育ての不安や相談等、地域のコミュニティを活用した子育てしやすいまちづくり

活気ある大山町へ

- 今も未来も自慢できる持続可能な大山町へ
- 大山町の資源を生かした経済振興
- みんなが住みたいと思えるまちづくり

プロフィール

生年月日：1992年1月30日 趣味：アクアリウム（熱帯魚）、サッカー
出身：神奈川県横浜市で生まれ、高校時代を大山町所子で過ごす
経歴：鳥取県立境高等学校（全国高校サッカー選手権大会2回出場）、
青山学院大学を卒業、社会福祉法人慶安会へ入職、現在施設長と事務局長を兼務



あさだ
浅田りゅうたろう

みなさんと共に活力ある町づくり

本町の人口は、毎年二〇〇〜二五〇人減少し二〇年後には一万人を割り込む事も予想されています。
この様な厳しい状況を踏まえて、先ずはこの町で暮らしている方々の生活を一番に考え、高齢化する現実に対処しなければなりません。また、これ以上の人口減少に歯止めをかけるべく、子育ての支援・教育の充実を図り、近隣の市町村から「住みたい町」にする事が必要です。
本町単独での企業誘致のみでなく、西部圏域で商工業を団地化して雇用を生み出し、高規格道路を利用してのペットタウン化も一つの方法です。
そして、町内から転出する方々を、いかにして踏みとどませるのか、重要な課題と捉えます。



よねはら
米本たかよし
東坪（六十七歳）